

# 学都の生活スタート

## 仙台の大学で入学式

東北大をはじめ、仙台市の複数の大学が3日、市内で入学式を行った。宮城県内外から集まった新入生が、最高学府の集まる学都仙台で新生活のスタートを切った。

### 東北大学 入学式の道 5199人 第一歩

東北大の入学式は、仙台市太白区のゼビオアリーナ仙台で行われた。10学部と大学院の計5199人が、晴れやかに学生生活の第一歩を踏み出した。

富永悌二総長は祝辞で「世界は戦争や紛争、予期せぬ災害など多くの課題に直面している。持続可能な未来に貢献する強い心と、東北大で学ぶ誇りを持ってほしい」と新入生を激励した。

学部生を代表し、薬学部の大内結稀さん(18)は茨城



⑤東北大入学式の会場前で記念撮影する新入生ら  
⑥東北福祉大の新入生を代表して宣誓する西山さん

県出身は「医薬品が効率的、効果的に届くよう研究や開発を行いたい。仲間と切磋琢磨し、助け合い、高め合いながら日々精進して

いく」と抱負を述べた。

式典の後、農学部の大原誠人さん(18)は「水産系の研究がしたかったので、良い潮目のあ

### 東北福祉大 現体育館最後の式典

東北福祉大(仙台市青葉区)は、国見キャンパスの体育館「福聚殿」で入学式を開いた。体育館は同大の新キャンパス構想に伴って近く取り壊され、最後の式となる。半世紀に及ぶ歴史

が詰まった施設で、新入生が新たな生活に期待を膨らませた。

本年度の新入生は4学部と大学院で計1526人。千葉公慈学長は「才能は有限だが努力は無限であり、



る東北で学ぶのが夢だった。視野を広く持って将来を考えたい」と話した。理学部の橋本和志さん(18)は大阪府出身は「大学院への進学を見据えて、物理の勉強に打ち込みたい」と力を込めた。

(坂田奈緒子)

自分次第でいくらでも己を成長させられる。気後れせず目標に向かって挑戦してほしい」と激励した。

新入生代表の総合福祉学部西山陽斗さん(18)は「自ら学んで行動することで社会の発展に貢献できる人材になる」と宣誓した。西山さんは2024年のゴルフ日本ジュニア選手権男子15〜17歳の部優勝者で、プロゴルファーの松山英樹さんを輩出したゴルフ部に所属する。

教育学部の石川欽奈さん(18)は「子どもに寄り添った教育ができるような接し方を学びたい。体育館で最後の式典に参加でき、貴重な体験となった」と話した。

新体育館は近隣の北山キャンパスに28年度中に完成する見通し。

(原口靖志)